

5. 第二のファミリーと共に



さあ、シリーズチャンピオン、2レース共にポルトウィンと、パーフェクトに終えた週末だったが、それはそれで大変である。ずぶ濡れで戦ったあと、雨が降りしき中、数々の表彰を受け、その後ポディウムから、びしょ濡れのまま記者会見へ移動。今度は、チームスタッフとの記念撮影とせわしない。

しかし、大事な一枚を撮ることは、誇るべき儀式のようなもので、2009年のSUPER GT以来の勲章を授かったチームの集合写真だ。ここまでのスケジュールで、だいぶ時間が押していた。その後は、オーガーナイザー主催の“シーズンエンドパーティ”へ出席し、ファンのみなさんへ報告も兼ね、お祝いをしてもらわないといけない。撮影を無事に終え、隣接されたホテルへ直行した。

パーティでは、館監督が音頭を取り乾杯。その後、シリーズ表彰も行われ、TOMSは改めてファンの方々へダブルタイトルの報告をした。





午後 8 時にパーティ終了。このあと、なんとチームの祝勝会が午後 10 時から都内で行われた。撤収作業を終えたチームスタッフも含め、現場にいた全員で祝おうとの監督の鶴の一声で、皆がサーキットから都内へ向った。無礼講の場ゆえに画像は控えるが、日本のレース界の重鎮、館監督を筆頭に、トムス大岩社長、関谷アドバイザー(SUPER GT、F3 では監督を務める)、トヨタ自動車の永井エンジニアから祝辞をもらい、また両ドライバーからチームへ感謝の言葉が述べられた。ロッテラー選手は、“トムスは第二のファミリー”と語り、これまで 6 シーズンずっと戦ってきたチームの館監督を父親のように思い、またチームの皆をととても大事に思っているのを感じずにはいられなかった。先に行われた記者会見では、物事には始めと終わりがあり、いつかは終わる時が来ると、興味深い発言もしていたが、現時点では、まだ何も決まっていない状況とのことだ。来年の動向がとても気になる 2 人のドライバーだが、館監督は、“ぜひ、この二人で戦いたい”と願いも込めて語った。



終わってみればあっという間のレースウィーク。TOM'S は、完全勝利で全く隙のない仕事をした。レースウィークのみしか、表には見えない訳だが、これまでの戦績を鑑みると、それは想像をはるかに超える各々のプロ意識の上に成り立つ結果だと言えよう。レースのプロ集団は、2 位など要らない、欲しいものは“優勝”のみ、この精神で戦っている。

フォーミュラ・ニッポンのトップの座を得た今、来季からは追われる立場となる訳だが、日本のレース界にその TOM'S の姿がある以上、観る人にも戦う人にも、ずっと感動を与え続けることだろう。

Congratulations TOM'S !